[illegible]行情
[illegible]六吊百至六吊三吊二百
[illegible]五吊四百文至五吊
[illegible]上車三十餘輛
[illegible]來七十餘輛
元寶六吊九百至六吊八百

一並[illegible] 同一百十三圓
一洗石鹸 二打入 同十九圓五十錢
一同 二十本入 同三圓三十錢
一袋眞綿 六枚入百袋 同一圓七十錢
一改良半紙 一〆 同一百三十圓 東公司 價三圓

一[illegible] 十四反 同一百十三圓
一綿ネール 仙人印 入一箱 五十錢
一白味噌 正五貫入一樽 同二圓八十錢
一同赤 正十八貫入 同八圓五十錢
一堅パン 七貫入一函 矢野洋行 同九圓

一女手袋 打 同八圓より十五圓迄
一メリヤス手袋 打 同三圓より六圓迄
一小供手袋 打 同一圓五十錢より五圓迄
一女シャツ 打 同六圓八十錢より十圓位迄
一小供シャツ上下 打 同九圓位より廿圓位迄

滿州日報

○報價
毎月收取八角代賣所及遠
處人并無分毫加增
○告白刊例
一行五號二十一字起碼登
一日者毎行二角毎登十日
行一角五分然月者毎行毎
日一角登長年者價當面議
從減 毎張四百文

告示
來る廿日より廿八日迄在留日本人の種痘を司法部裏醫務所に於て無料施行す
月 日 營口軍政署

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千零拾四萬圓
本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫敦 里昻 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺
電話 十番 支配人室
百八番 事務室
横濱正金銀行牛莊支店

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭
以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也
松茂洋行商業部
河岸通(電話五十二番)

M. Iizuka,
Contractor,
Architect and Civil Engineer.

Plans and specifications made to order.
Estimates submitted.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

東營口郵便局東隣
島田洋服店
新民屯停車場前
同支店

三井洋行
倉庫部
啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗棉布火柴煤炭糖海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請賜臨是荷着
●精製白砂糖新入荷物あり
今回倉庫所在地(青堆子精搗場上陸り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は仝所へ御照會被下度願上候
(電話百二十八番)

宅合名會社分莊
運輸部
本號前在營口東營元神廟街白造日本酒漆器印并一切雜貨其名譽己傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街開設備院內分設支店一所發賣綿絲綿布火柴絲布綢衣帽襪布手巾花巾東洋襪子洋傘鐘表貨物俱全而價値尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請賜臨爲幸
運搬特得官准開設火車轉運行於東西兩店并牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺專與本業賜顧幸甚
總司理人田中類之助謹白 電話 東店五五 西店一八三

東盛和
本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋[illegible]等貨兼行[illegible]代客[illegible]買賣地方寬大凡[illegible]營口東南[illegible]自建[illegible]輪船[illegible]棧房[illegible]宜棄置有輪船一隻名城多利號[illegible]便[illegible]圖貯油餅豆米[illegible]更爲合及存積貨物水脚棧租格外從廉[illegible]貴客賜顧請到小號面議是荷 總司理人 葉亮卿謹白

東永茂
機器油房在營口創辦油粕生意多年以本營業非賤傚油房事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠儒相孚還運知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順
本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料稳妥堆棧寛大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號
係裝運各幇火輪船生意乘賣各幇洋什貨糧石等此佈
營口西大廟街路北警乙第十三號

恒有長
本號開設在西大廟街路南第十一號廣福雜貨一應俱全價值格外從廉克己并易設銀爐包鑄錠以應急需久爲 中外士商所推許凡賜顧者請認明招牌爲荷

元茂盛
油坊買賣元豈荳油荳餅雜色粮石以及代客[illegible]雜貨布疋一概發行裝運沙寧鴻船交易南北客商歷有年矣爲此謹白
開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

代代米烟公司
本行專售 日本官煙紙烟 鳳凰牌(新進)櫻花牌(細刻)百合花牌(利利)均巳馳名內外兹特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆新來福)清香撲鼻佳美營口而價値極廉 諸尊欲購可向總行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

賣捌並廣告取次所
連大市穗岐町三百三十八號
日華運輸公司
大連市盤陽城四樂九番地
岡野新聞舖
奉天大南門內景祐宮胡同
全泰號
遼陽遼俱町十
谷口今朝太郎

生徒募集
今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し最に督促書を差出したるも尙遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし
營口 瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生
本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名毎日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白
營口瀛華實學院

競賣廣告
第一號 一輪荷馬車 千參百輛
第二號 二輪荷馬車輓具 五百副
第三號 一人挽徒步車 三千輛
此入札保證金は各自見積代金百分の五以上右競賣に附し賣却す入札望の者は當所倉庫に就き(自午前十時至午後四時)閲現品及入札心得書並に契約書案等熟覽の上來る三月二十日(自午前十時至正午)入札書差出すべし但即時開札す
此契約は門司野戰兵器本廠奉天出張所長西野雄太郎擔任す
明治三十九年二月二十日
奉天停車場南方約八百米突に在る(山西會館附近)
門司野戰兵器本廠
奉天出張所

拍賣告白
門司野戰兵器本廠奉天出張所茲於日曆本年二月二十日在奉天倉庫拍賣車輛願欲包攬者毎日自上午十點鐘起至下午四點鐘止須到該處詳看車輛拍賣知及合同樣式限於三月二十日自上午十點鐘起至晌午須呈入札書即行開札再立此合同者爲門司野戰兵器本廠奉天出張所長西野雄太郎

計開
第一號 双輪搬貨馬車 千三百輛
第二號 双輪搬貨馬車用車套 五百副
第三號 人力單拉車 三千輛
承買者均須將各自估價一百分之五先交作押
明治三十九年二月二十日
在奉天停車場東南方淸里一里半
(山西會館附近)
門司野戰兵器本廠
奉天出張所

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance, Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料 [illegible]
一ヶ月以內[illegible]銀十五仙乃至十[illegible]
一長期連揭減價面議
發行所 淸國營口中盛街
滿洲日報社
(電話二九番)

大日本政府特定
官製營口付紙捲煙草
滿洲一手輸入發賣

江副洋行
營口永世街

和泉洋行
本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、領子、鍍袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一槪俱全價値格外從廉克己、凡 中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、
大阪府堺市熊野町 藤原謹啓

田中牛莊
啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精選東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉 賜顧者請光臨本舖面間是幸
田中牛莊分莊謹啓
營口永世街第一八四號平野町

材木販賣
荒物
秋田洋行
本店 下關 秋田寅之輔商店

飯塚工程局材料出售
啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名國遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克巳凡 中外士商賜顧者請來本場東營口元神廟街本工程局面議不候再本十新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧局急之需 局本主人啓

●雜貨卸小賣商 附日用食料品
●菓子製造販賣商
●委托販賣商
●土木建築受負業
●瀛車積運送業
新民府孫家街
東洋號

電氣諸機械
大販賣
本店 天津日本租界電話二〇〇
支店 營口永世街甲二一五號
三友洋行電機部
(電一五四番)
主任 朱年田寅吉

營口元神廟前
飯塚工程局材料部
(電話百三十五番)
弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道產松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

東京電報

●三將軍の謝電

ミリツト勳章を受領したる山縣大山東郷三將軍は其名譽に對し謝電を英國皇帝に捧呈せり

●加藤外相の晩餐會

加藤外相二十三日夜コンノート親王殿下の爲めに晩餐會を開く來賓五十名

●警視廳廢止否決

警視廳廢止建議案は一百に對する百七十五の多數にて否決せらる

●地方官の論功行賞發表期

地方官の論功行賞發表期は六月頃ならん

●捕虜引渡の皆濟

露國俘虜七萬一千九百六十三名(内將校千四百三十八名)の全部引渡は愈々結了せり

●ヲーシー氏の入京

米國保守黨前大統領候補者チーシー氏は二十三日入京せり

●桂伯の萩歸省

桂伯は十三日發途鄕里萩に向へり

●高橋氏の鐵國亡國論

高橋日本銀行副總裁は幸倶樂部の席上に演說して鐵道國有亡國論を唱へたり

●伊藤統監の參拜

伊藤統監二十三日內外兩宮參拜後西下せり

●排外熱と放火

福州の本派本願寺出張所放火せらる排外熱の一現象なり

●東京市の貴賓請待

二十六日東京市は英國貴賓を日比谷公園に請待すへし (以上二月二十三日發電)

鐵嶺電報

●川崎軍政官の葬儀

故川崎軍政官の葬儀は本日午後二時莊嚴の盛式を以て本願寺慰問部に於て行はる葬儀指揮官は高橋參謀長にて會葬者は師團長以下駐屯將校及び在留邦民無慮二千餘名なり (二月二十二日發電)

倫敦電報

●モロッコ問題の失敗說

佛國側の意見に據れば警察問題に關する獨佛兩國の主張は到底一致すること能はさるを以てモロッコ會議は失敗に終るべしと云ふに在り

●遠征隊襲擊を受く

ラゴスを發してソコトに向ひたる英國遠征隊は迷信者の襲擊を受け騎馬步兵一中隊を失へり實に之れ守備隊の一半にして政務官ヒラリー氏スコット、ブラックウードの兩中尉外二名の白人將校も共に殺害されたり該迷信者等は新マーデの崇拜者にして良武器を有し不意に遠征隊を襲擊せしものと思はる

●南阿殖民地の鑛山株暴落

南阿殖民地カフイールの鑛山株は現內閣政策の影響を受けて益々暴落しつゝあり來る廿三日の勘定日には大困難あるべしと豫期せらる一月廿二日より今日迄に四十の重もなる會社は其株劵に於て一億八千萬圓の下落を招くに至れり (以上二月二十一日發電)

●香港公債の賣却濟

香港公債は九十九磅より百磅の間にて悉皆賣却濟となれり然れども公債劵署名人に於て其七割を引受くるに至りたる旨公報ありたり

●佛紙の仲裁豫望

佛國の新聞紙はモロッコ問題を評論し仲裁の申込みあるべきを豫期せり

●國立銀行設計提議

獨國は佛國の優先的位置を無視しモロッコ會議に提出するにモロッコ國立銀行設立の設計を以てせり佛國は之れに對して同一設計を提出せり (以上二月二十二日電)

雜報

●ガーター勳章と其受領者

此度英國皇帝より我天皇陛下に御贈呈あらせられたるガーター勳章を今日迄に受領せる各國帝王皇族等は都合四十八名にして其姓名左の如し

▲露國皇帝▲墺太利皇帝▲獨逸皇帝▲西班牙皇帝▲ヘレチス國王▲以太利皇帝▲瑞典國王▲白耳義國王▲サキソニー國王▲ルウマニア國王▲葡萄牙國王▲丁抹皇帝▲ハインリヒ親王▲チーブルス親王▲サキスコバーグ親王▲コンノート親王▲ヨーク親王▲ケムブリツヂ太公▲カムバアランド太公▲リツチモンド太公▲ビユーフオルト太公▲ウエストミンスター親王▲グラフトン太公▲アーガイル太公▲ノーフオルク親王▲ヲツトランド太公▲ダヴオンシヤア太公▲アバアーコン太公▲バツクユリテ太公▲メツクレンブルヒ、ストレリツチ公▲フイツ、ウイルリアム伯▲スペンサア伯▲コウパア伯▲リポン侯▲ライセスタア伯▲ソールスベリー侯▲キムバアレイ伯▲アバアサヴエンニー侯▲ロンドデリー侯▲カドガン伯▲ローズベリー伯▲ブレツドアルベン侯▲ダアビー伯▲エルジン伯▲ロバーツ元帥▲ヘツセ太公▲ランスダウン侯▲波斯國王

因にガーター勳章は近時十六世紀時代の原形に復して星章を加ふることゝなりたるが此星章ある同勳章を贈るは三百年來實に我皇室を以て始めとすといふ同勳章には徽章短上衣、頸飾附屬しありて佩用者帝王なれば同勳章は永久其所有に屬し英國臣民なるの場合には死後之を返上すべき定めなりと又歐洲帝王中には莫大の費用を厭はず右の星章を造る者あり露國皇帝の星章は最も高價にして純粹の白金剛石を用ゐ其價十萬圓に及ぶといふ又元來外國の君主にして同勳章を贈らるれば親ら英國に赴き其受用式を行ふの風習ありしが今日にては此風を廢し英帝より特派大使を出して贈呈することゝなりたりといふ

●露國來年度豫算

露國政府の來年度豫算は概要在滿洲の軍隊引揚輸送及び日本に對する俘虜費償却の爲め四億圓の臨時支出を要し國庫債劵の發行に依りて之を支辨する計畫にて經常歲入約二千億圓其の歲出中には約一千九百萬圓の陸軍改善費及び二千萬圓の警官增加費を含み海軍豫算は新艦製造費を別にして六千萬圓より三千八百萬圓の減額を爲したりと云ふ

●韓國の歲入に就て

韓國の歲入に就き目賀田顧問の語る所に依れば韓國政府の歲入は現に八百萬圓を計上するに過ぎざれども人民は其の三倍即ち少くも二千萬圓以上の租稅を負擔し其の太半は暴官汚吏の盜む所に任す今後徵稅の方法を改革し官吏の非行を正さば人民の負擔は幾分を輕減して政府の歲入は優に之を倍加すべし世には韓國財政の前途を悲觀する者あれども余は現在の負擔を標準として前途必ずしも困難ならざるを確信するものなりと云々

●昨年の淸韓貿易

昨三十八年に於ける對淸貿易は輸出に於て縣絲縣布の多額に上りし爲め輸入の稍々減少したるにも拘らず輸出入合計に於て三十七年の一億二千二百万圓に對し昨年は一億五千百万圓に達し二千八百万圓の增加を示せり即ち左の如し

	三十八年	三十七年
輸出	九八、六八一、九九八円	六七、九八五、八七三円
輸入	五二、六一九、四〇八	五四、八一〇、三三六
合計	一五一、三〇〇、四〇六	一二二、七九六、二〇九

更に韓國貿易を見るに同じく輸入に於て三十七年に比し多少減額したるも輸出は煙草麥酒其他の雜貨に於て多額に上りし爲め輸出入總額は三十七年の二千六百七十万圓に對し昨年は三千二百七十万圓即ち二千六百万圓の增加を示せり左の如し

	三十八年	三十七年
輸出	二六、六一八、八七〇円	二〇、三八九、七六八円
輸入	六、一五〇、五四一	六、四〇〇、七七七
合計	三二、七六九、四一一	二六、七九〇、五四五

●現內閣と騷擾事件

前內閣は昨年九月五日に於ける東京市の騷擾事件に就き民間に其の元兇者あるべしと誤認し大に無辜の良民を羅織し其の結果幾多知名の人々は兇徒嘯集罪を以て拘引の身となり公判未だ開廷せられざる中に桂內閣は辭職の已むを得ざるに至りたるが現內閣は是等の處分に就きては頗る注意し居るのみならず警官の慘殺檢事並に各檢事の行爲に關し斷然たる處置を爲す考へにて密々其の當時の狀況を調査中なりと云ふ

●樺太漁業問題

樺太の漁業權に關し露國政府より同國人漁業權專有法に關する抗議を申込みたる由なるが右に關してポーツマウス講和條約に樺太在住の露人財產權保護云々の規定あり漁業權が財產權の中に包含さるゝや否やは由來國際法上の未定問題にして漁業權が果して財產權の中に包含せざるものとせば我が政府は右抗議に應ずるの理由なし尤も該問題に關しては我が政府は近日中來著すべき熊谷民政長官の來るを待ち協議する筈なりといふ

●新任露國公使

ブルガリア國ソヒヤよりの來電に依れば東京駐在露國公使バクメチエフ氏は二月十三日前任所を出發せるが同氏は出發に先ち王宮に於て晩餐の饗應を受け各新聞は同氏が必ず東京に於て令聞を博すべきを信ずる旨の評論を揭げたりと

●大博覽會調査費

數年後に開催の筈なる內國大博覽會の開期其他に就ては當局者に於てそれぞれ調査中なるが政府は取敢ず之が調査費として二萬五千圓內外を支出することゝなり追加豫算として近日議會に要求すべしと

●北京通信(承前)

二月十九日 特別通信員

▲若し淸國の對露要求にして斯の如き者なりせば吾人は曾て退嬰を事とせる淸國に於ては誠に外交上の一大進步なりと揄揚嘆稱せさるを得す候併も淸國に於て飽迄此の主張を貫徹して强露の患を北境より驅逐するの決心あるや否やは頗る疑問に御座候露國如何に內憂外患の爲めに疲弊せしとは云へ彼か侵略の参望は未た全く失せす淸國に對して多くの弱點を把握し寧ろ優勢の地に立てる者有之加ふるに我國新進外交家山座政務局長をして外交手腕の辛辣の點に於ては遙にウヰツテを過ぐと評せしめたるポコチロフ氏か其衝に當たる事なれは淸國に於ても頗る重荷なるへきは察するに難からす候吾人か淸國の態度に於て多少危惧を抱くも亦此點にして此れ小生一個の私言に非ず候然しなから吾人は此問題に關し豫言をなすに先ち先決問題としてポコチロフ氏の相手方として樽俎折衝の任に當れる唐紹儀氏の如何なる人物なるかを研究すへく候▲唐紹儀氏は近來稀なる陞進の速かなる人にして昨年天津海關道より一躍して駐露大臣となり印度總督と西藏問題に關する談判の衝に當たりて其結着を見すして歸るや直に外部侍郎に任せられたるは世人の知る所にして其陞進の速かなる徐世昌氏を除ひては他に比を見さる所に候此れ固より袁總督の後援によるは勿論なりと雖も亦彼の才能手腕か滿朝の王公大臣に信用せられし結果に外ならす候▲彼は廣東の人先天的に外交家たるの土地柄にし長して米國に遊學する者多年頗る時勢に通常當時の朝廷に伍侍郎と併稱さるゝ外國通にして此點よりすれは外交家たる資格に於て頗る完全なる者に候加ふるに膽識ありとの事に候へは人才缺乏の淸國に於て世人か大外交家として大に彼を信任するも亦決して無理ならぬ事に候蓋し彼か曾て天津に道臺たりし時一時露國より買收されたりとの風說ありしに拘らす確かなる筋より聞く所に依れは彼は頗る頑固なる國權論者にして寧ろ排外黨に近かき者の由に候へは對露談判委員としては尤も其當を得たる者なるへく候況んや袁督の常に其後に在りて種々の助言を與へつゝあるに於てをや然れとも彼を以てポコチロフ氏に比すれは彼に於て幾分の弱味あるは疑ひなき事實なるへく此れ吾人の尤も憂ふる所なれ共人才缺乏の淸國に於ては致し方無之吾人は唯彼か狡猾なるポコチロフ氏の口車に乘らざらんことを希望するのみに候(未完)

●北淸事變以前の營口(承前)

▲露艦砲擊 奉天の副將軍某か多數の淸兵を引卒して南下したりとの報道市內に喧傳せられたる時は前述の如く人心洶々として何となく不穩の模樣ありて一時は同胞も軍艦內に避難するに至りたるか幸に異常無かりしを以て再び引歸して各其の居所に入りたり露兵か軍艦より發砲したるは實に其後一二日の後に在りたるなり

▲小旗三四 先是露國は夙に營口占領に野心ありたるも別に占領の口實無く已むを得す恨を呑て時機の到來を待ちたるに、果然、團匪の起るあり殊に奉天副將軍の南下に依り、營口の形勢亦た漸く不穩を覺へ野心を貫徹するの時機到來せりと心中私かに滿足を感したるの時に當りて今の河北停車場附近にて無賴漢を以て組織せらるゝ拾數の土人猝然數流の小旗を押し立てゝ多少不穩の形勢を示したり蓋し之れ露國の日夜希望せる者於是露國は呼んで團匪の出現と號し遂に軍艦より大砲を以て酬ゆるに及べり

▲衙門砲擊 以上の無賴漢は露國の觀察せる如く果して眞正の團匪なりしか或は然らさりしかは今暫く措き、僅々拾余の群集海上遙に大砲を以て見舞れたれは固より應戰するの勇氣なく、一發の砲聲と共に先を競ふて逃避解亂せり於是露國は徐に砲首を回らして更に道臺衙門に向ふて砲擊を開始せり當時衙門砲擊の理由に曰く河北の團匪は道臺の使嗾に出てたるや疑なし今團匪は我か砲擊に畏縮して失色解亂せしと雖も元凶たる道臺の傲然存在するに於ては其の再擧料る可らす今に於て合せて道臺を誅戮するは營口を根本的に靜平にし其の秩序を恢復す可きの唯一の道也と實に之れ衙門砲擊の露國の宣言なりき、

▲道臺、失色 斯て露國は衙門に對し發砲を持續したれは道臺は失色狼狽逃避して其影を沒せり蓋し事進んで玆に及へは露國の目算は全然貫徹せし也以上に於て露國か施す所は唯た營口の占領に在るのみ果然露國は道臺逃避し營口の行政絕無に歸したりとの口實を以て全然營口を占領し道臺に代り其行政を扱ふに至れり(未完)

●通關代辨業

追々開河期も近つきたるを以て本年中西稅關通關代辨業を營まんと欲するものは仔細の手續其他を同關に於て承合し本月二十八日限り願書差出すへしとなり

●種痘に就て

當軍政署に於ては痘瘡病の蔓延を恐れ豫て內地より痘苗を取寄せ此程より已に醫務局に於て日々一般在留民の種痘を施行しつゝあるか折角當局官衙の盡力に拘らす種痘を受くる者一日僅に五六名に過きす斯くては當局の苦心も何等の効無きのみならす各自に於ても若し該病に侵さるゝともあらは一生の大事なれは幼者は言ふに及はす壯者老者も等閑に附することなく種痘を受けらるゝこと肝要なるへし

●奉天本願寺慰問部と感謝狀

本願寺滿洲各地慰問部が軍隊慰問に對し大に力を致せるとは夙に聞及へる所なるが今奉天慰問部が同地兵站司令官より得たる感謝狀を得たれは左に揭ぐ

感謝狀

本派本願寺奉天慰問部

右明治卅八年三月我征露軍奉天占領後直ちに當慰問部を設置して以來戰死病歿將卒の遺骨を奉安し日々拜禮讀經以て其忠靈を慰し又諸種の設備を施して以て軍隊の慰安に努め講話に慰問に殆と寧日なく我遠征軍人をして腥風血雨の裡安心の地を得隆暑祁寒の時無上の樂を得因て以て忠實に各其本分を盡すことを得せしめたり特に同十月平和克復後軍隊の凱旋輸送に際しては晝夜其稿軍に盡瘁する等長日月間不屈不撓能く其の奉公の誠を致したるの功勞甚大なりとす今や我司令部凱旋に際し在奉天駐屯諸部隊を代表し玆に感謝の意を表し併せて益々佛教の隆盛ならむことを祈る

明治三十九年二月四日

奉天兵站司令部陸軍輜重兵中佐 正四位勳四等 田宮一郞

東北地方の饑饉を聞て

八の家主人

かたふく軒や壁崩れ 雪は降込火は取れす
餓に衰ふ身はおけど 若き夫は國のため
異域の土となりに兒 紀念に殘る一人の兒
求むる乳の術も絕へ せかんて泣は親も泣
泣て其日を暮せとも 無てならぬか日々の糧

＊　＊　＊

前世は無論此世にも 犯せる罪は無身そや
五十四即の天災に 竹に雀の羽もよわり
宿りかねたる情なよ 雪折竹の根も堀て
しのふ文字摺絕んとすみよりも共に餓饑道の
渦に挽れて埋れ木の死を待つよりは外そなき

春七句

木嬰

雨しとゝゝ蛙鳴立つ田面哉
爪の數よみゝゝ都這入かな
芝居はねて車呼ふ也春の雨
鳥の鳴空映るなり春の水
雲起る摩耶山の下畠打つ
畑打は昌圖見て來た勇士哉
砂河や人去て小鮎處を得

狂句五句

新坊

見るならは降る雪よりは踊る雪
營口は岸の上なる雪見船
さもなくて暇で御坐候雪降る日
ひどゐ雪第八師團笑て居
大雪や營口になき水を呑み

歩雪道　金山

敲窓故老夕陽時。小徑閑行景色奇。飛雪凝烟茅屋裡。傾瓢犬吠醉吟詩。

雪中

倚欄遠近絕塵埃。玉粒飀風拂面來。飢鳥翔飛歸路沒。題詩飲酒共含杯。

汽車發行

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝邦子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上一二、一八	下六、二〇
山海關至天津	上五、〇〇	下五、〇五

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一〇
天津至塘沽	下二、四〇	下八、三〇

野戰鐵道普通輸送列車發著時刻表

大連奉天間下り列車

驛名	發著	時刻
大連	發午前	九、〇〇
金州	著	一一、〇九

驛名	發著	時刻
遼陽	著午後 發	三、五〇 四、五五
大石橋	著 發	一〇、三二 一一、三五
金州	著翌前	二、二〇
大連	著	五、三二

大石橋營口線 上り列車

旅順 發午後 二、〇三
大連 著 五、三二

下り列車

天氣

營口地方 自昨日午後六時至本日午後六時

雜報

●第三軍野砲戰利大隊の功績（前承）

（鐵嶺砲兵生）

戰闘經歷

軍の前進運動を開始するや初め最右翼に位置し田村騎兵團に屬して行進せるが其後田村騎兵團は秋山支隊と合して秋山支隊と改稱せられ三月二日酒井中尉の卒ゆる一隊は秋山支隊の騎兵第六中隊に續行し小房身より大房身に達せんとする際歩騎聯合の敵縱隊は奉天街道を我れに向ひ前進するに會し大房身附近に陣せし敵歩兵一縱隊（一列側面縱隊行軍長徑約九丁）は老邊より後蔡屯に向ひ前進するに會し友軍と速擊し一線を畫し陣地に着くや優勢なる敵砲兵現出し我後方部隊を射擊し段列に少なからぬ損害を與へ且つ友軍なる騎砲隊及機關砲隊には死傷續出し騎砲隊の如きは幹部の過半を失ひたるも滿を持して一彈を放たず敵の近距離に進入し來るや友軍と相應じて一齊に猛射し曳火彈は敵の頭上に下爆し機關砲より打出す彈丸は急霰の如く忽ち敵は全滅せり此の戰闘に於て戰利砲隊の收めたる功績は偉大なるものにして敵が死傷收容の狀況を察するに約三百名を斃せり生田少尉の率ゆる一隊は正午頃大房身東方に陣し午后一時卅分古城子方向より散開前進する敵歩兵約二ケ中隊を射擊し多大の損害を與たり全日三時頃板棒東方無名部落の凹地に添ひ我左翼を迂廻せんとする敵歩兵約二ケ中隊を射擊するや敵は退却して當村內に潛みて暮色を利用し前進を開始せしかば猛射し全然敵の計画を挫折せり此日曹家子に背進し宿營すべき命に接し騎兵第九聯隊の援護の下に段列の順序に背進す此時敵は小銃彈を雨下して馬匹に死傷多く夜色暗濛として兎角潰亂の狀態に陥らんとせしも幹部の指揮機宜を得て一も遺漏なく任務を遂行せり此日全中隊の負傷は重傷三、輕傷三、馬匹死傷九、を出したるのみにて兵員の死者は一名も出さず豫期以上の効果を收めたり前日來の戰闘に於て彈藥殆んと費消して全中隊の行動を爲すを得ずし酒井中尉の一隊のみ殘り彈藥車を卒ひて秋山支隊に續行前進し他は一時停止せり

三月八日附近に敵の遺棄彈藥あるの報に接し寺戶少尉は蒐集の爲め宜く彈藥車を卒ひて沙嶺保に趣けり此日露兵二名を捕獲せり

三月八日生田隊は秋山支隊長の命に依り鐵道脅威の目的にて四家子方向を行進する敵の列車を射擊せり午後四時十分好心臺子に向ひ攻擊前進する敵歩兵一中隊を猛射し敵の一時占領したる村落を我左側衛に占領せしめたり午後五時好心臺子左方森林中に潛伏する敵一ケ中隊を射擊し約三十名を斃せり

三月十日彈藥缺乏の爲め分離し居たる本隊と合し敵騎一聯隊四家子方向より石佛寺方面に前進するを發見し攻擊す午前十時關西屯南端に徒步戰を爲す騎兵の援護射擊を爲し午後三時卅分巴牙連等より東北方に退却する敵步兵約二ケ中隊を猛射し敵二三十名を斃せり午後五時敵砲兵一中隊王士屯東方に陣し亦一隊は營盤附近に現はれ猛烈なる射擊をなし一時十字砲火に包まれたるも勇敢なる我兵は應戰最も力め遂に敵を沈默せしめたり

三月十二日午前十一時敵騎丁字泡村端に徒步戰を爲し我騎兵の前進を阻害するを以て援護砲火を送り敵を擊攘し退却する敵を追尾射擊せり

三月十四日午前九時小丁字北方の山東麓に現れ敵兵を射擊中敵騎約一師團步兵一旅團の大敵北方に退却するを認め砲口を變換し步兵を射擊し潰亂せしめ此の戰闘に於て約五百の敵を斃せり午後五時揚戚樓西端に現出せし敵砲兵に對し射擊せり此日の敵は各兵聯合の大集團なりしを以て若し追擊の緩慢なりしならんには我左翼は脅威せられ不利の戰況に陥りしやも計らさりしか能く敵の機先を制して非常なる効果を收めたり

三月十六日生田小隊は左側衛に屬し營盤附近に達せしとき敵步兵二ケ中隊散開前進し來るを以て猛擊し敵は潰走せり午後五時老邊北方より退却する敵騎一師團の縱隊及び步兵の二縱隊を發見し猛烈なる追尾砲火を送り敵は周章狼狽潰亂して退却せり此日野戰砲兵第十六聯隊より照會によれば該隊に於ては連日の戰闘に於て下士十五名を失ひ其の行動に支障するを以て若干名の歸隊を促かし來りたるより秋山支隊を分離し以前第十六聯隊の砲下に屬し全時に中隊長堀直隆氏は砲兵第十六聯隊第一大隊長に轉せられ其後任は今の第一中隊長浪花大尉着任せられ其後大隊の編成を命せられ五月十五日法庫門に於て大隊の編成を完し渡邊中佐大隊長となり將に活動を開始せんとするに當り偶ま休戰の命に接し砲火を收めて休養を取りしが今や凱旋の途に上るに當り其戰闘中の經過を追想すれば多くは敵の遺棄彈藥を收拾して戰闘を爲し其苦戰の狀名狀すへからず三月三日の戰闘に於て感狀を授與せらる

戰利中隊

右は秋山少將の指揮下に屬し三月三日大房身附近の戰闘に於て有勢なる敵の攻擊を拒止し軍の左側背を完全ならしめ遂に之れを擊攘して多大の損害を與へ以て軍の作戰を容易ならしめたり其功績顯著なりと認む依て玆に感狀を授與す

明治三十八年三月十二日

第三軍司令官　男爵　乃木希典

殊に特記すへきは一人の戰死者を出さす僅に數名の負傷者と二三の病死者とを出したるのみにて偉大なる功績を收めたるは異例とする所なり（完）

●鐵嶺陳列所出品輸送に就ての注意

今回關東總督府鐵嶺軍政署の設置に係る鐵嶺陳列所は三月一日より開始せらるゝ筈に付內地人にして該所に出品の許可を得たるものは總て左の條項に照し輸送を取扱はるゝといふ

一、關東總督府鐵嶺軍政署の設置に係る鐵嶺陳列所に出品を許可せしときは其許可と同時に出品者又は出品團体代表者の住所氏名（宰領者を附するの要あるものは其氏名）及品目數量發送の順序等を宇品若くは門司碇泊場司令部に通報するを以て出品者は該官衙に付き其輸送を申込むへし

二、許可せられたる出品は堅固に梱包し其表面には品目數量及出品者又は代表者の氏名及鐵嶺軍政署行鐵嶺商品陳列館出品なる文字を明記し（火藥其他爆發質の物品油紙油布生石灰燐寸其他發火若くは燃燒し易き物品或は油紙油布等を以て內部を包裝せる物品の梱包は嚴包に在りては二條の赤繩を以て縱横に圍繞し箱物にありては表面に太さ二條の朱線（二線の間隔は約二寸とす）を書し且梱包には長さ七寸幅三寸より小ならさる赤色の標牌を四個以上附着し之に危險物たる物品の名稱を黑書す）關東總督府鐵嶺軍政署の許可を證する書類を添へ出品者代表者又は此等の代理者若は其宰領者より宇品若くは門司碇泊場司令部に提出する事

三、宇品若くは門司碇泊場司令部並に戰地各兵站官衙にては輸送の餘力ある限り該出品を一般軍需品と同樣に取扱ひ之を鐵嶺軍政署に送達せらる又宰領者は出品者又は出品團体毎に一名を限り運送船及軍用鐵道に便乘を許可せらる但し輸送官衙は出品の破損紛失等に關して其責に任せす

四、出品中梱包の不確實又は違式なるもの他の軍需品に被害の虞れあるもの第一項の通報に反するもの及び其他の事由に依り逆達し難きものあるときは宇品若くは門司碇泊場司令部は之を受理せさる事あるへし

△△△△でたらめ草

世路難は何れの國何れの時でも同じい事で別段不思議な事でも無いが殊に此戰爭後は男子の失業者が多く爲つたと共に婦女子の失業者も次第に增加して目下其內職賃金は昨年よりも一層低落して生活が益々困難に爲つて來た今東京の女子內職賃金を舉ぐれば左の如くである

▲經木眞田編　一反の工賃十五錢一日平均六
▲手袋カガリ　一日一打平均六錢より六錢五厘
▲靴下カガリ　一日一ダース半仕上げて八錢位
▲燐寸箱張　一日五百個仕上六錢五厘糊代自辨
▲石版繪著色　素人にも出來得れど工賃は七錢
▲繪端書彩色　一日五百枚を仕上げて二十錢止
▲製本紙折工　通勤十時間八錢より十二錢迄
▲造花の初步　糊代自辨十二錢位練習を要す
▲書簡袋張り　一日千枚仕上げ七錢より十五錢
▲足袋の下縫　一日百足と見做し此縫賃七錢位
▲股引の下縫　四十枚平均十二錢より十五錢
▲ボール箱　通勤八時間七錢夜業を合し十二錢
▲提灯の下張　二ケ月練習し十五錢より二十錢
▲小揚子割り　一日十時間働き素人の工賃七錢
▲菓子箱張り　一日十時間五錢より八錢まで

即ち手袋カガリ燐寸箱張が一日六錢內外で菓子箱張などは十時間勞働でやつと五錢から八錢迄である春宵一夜にして二十金三十金をせしめ上げる營口の女流には吃度天罰が來るに違ひ無い（△△坊）

廣告

東北凶作地窮民義捐者芳名

一銀一圓　營口永世街　長門商會
一同二圓　大石橋　林成治郎
一同十圓　營口ホテル館主　粕谷忠兵衛
一同五圓　同方　菊田鉢之助　谷粕耿
一同五十圓　營口ホテル方

荒木信一　伊藤宇之助　山田庄三郎　菊田竹太郎　仝鎌吉　古賀住太郎　朝倉喜平　粕谷新太郎　丹治平太郎　大關重一　奥野仙太郎　粕谷とよ　仝かめ　福間まつ　仝藤枝　太田うた　石田つぎ　大西ゆき　丹治とよ　加藤なを　河尻よね　高垣あき　坂本ゆき　小島きぬ　福島はな　梶原しよを　山田繁代　長谷川あさの　加藤よね　中野くに　古賀てゑ　今石つま　塚原すね　竹內りよら　長谷川よち　加藤うを　貴志とく　天滿とよ　野田とを　床野ゑみ　三野よね　澁澤源次郎　中村鐵藏　杉浦八五郎　大橋慶三郎　渡邊惣次郎　平田たゑ　福田よね　小川正子　山口きるん　北野はゑ　仲川淺枝　澤村しげ　宇治つま　河合たか　濱崎よし　有井すて　玉井つる　佐藤つる　中村鼎

一銀十圓　日本館主
一同三圓　日本館內
一同三圓　同
一同二圓　同
一同二圓　同
一同二圓　同
一同三圓　同
一同三圓　同
一同三圓　同
一同三圓　同
一同二圓　同
一同三圓　同
一同三圓　同
一同二圓　同
一同二圓　同
一同二圓　同
一同二圓　同
一同二圓　同
一同拾圓　平野町山金方

計百三十二圓
累計二千七百十八圓二十五錢

森病院
一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄施療の入院を諾す（取扱主任產婆大崎しげ子）
院主　森纁
醫長　鈴木昌平
營口永世街（電話一五五番）

一、關內外蘆漢鉄道貨物運輸　但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一、海關手續　但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱
一、鈔關手續　但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一、船舶貨物取扱
一、其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業
右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大清通運公司營口支店

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口綏定門街　ブツシ商會東
川喜鐵工場

拙者儀今回都合ニヨリ大清通運公司長ノ職ヲ辭退致候間此段謹告候也
竹野虎雄

今回竹野虎雄氏弊公司長ノ職ヲ辭退被致候ニ就ヘ當分ノ內公司長ヲ置カス支配人川畑竹馬本支出張店一切ノ業務ヲ處理可致候間此段謹告候也
明治卅九年二月十三日
天津停車場內
大清通運公司

消火器
右今般新荷着仕候間可成至急御申込願上候
英治洋行
營口[illegible]北街

京北
扶桑旅館
東單牌樓大街路西
客室清潔料理鮮新

御旅館
天津
芙蓉館
駐屯軍御用　並西洋料理
（電話四十一番）

營口中央市場前
萬事勉强乘車乘船好位置
旅館　東京樓
店主　熊田兼次郎
（電話百七十八番）

西洋料理仕出し御需應にす
即席和洋料理
東京樓支店
（電話四十四番）

藝妓仲居新來御披露
此度新たに內地より藝妓仲居十數名を連れ來り候間御光來の上御評判の程願上候　草々
營口
高砂ホテル
（電話一四五）

會席料理
三日月
營口[illegible]南に入

奉天日本旅館
瀋陽館
家屋宏壯清潔　接待懇切
開放全時一開業
奉天小西門外大街路北

開店披露
弊店儀從前より營口に於て營業罷在各位の御引立を蒙り難有奉厚謝候尚は今般奉天小西門街金城館前へ第三更科支店開業仕候間一層御愛顧之程奉希候
月　日
營口元神廟街　第一更科
同永世街　第二更科
奉天小西門街金城館前　第三更科
各位

Yano & Co.
矢野洋行
電話一三七 Telephone No. 137

諸雜貨、家道具類、吳服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段ヲ極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

雜貨卸商

在元神廟營口街
關東公司雜貨部

石材、碎石
並に自家製造 廉價販賣
瓦、煉瓦

營口元神廟街四十號第二號
順吉洋行

重曹
硼砂
炭酸安母
ヲーラミン其他

藥用品新荷着
醫藥賣藥醫療器械

營口永世街
東瀛大藥房

澤之鶴ハ醇良にして風味高尚なり

札幌ビール
朝日ビール
並ニ
政府專賣口付紙卷煙草 朝日 大和
酢 醬油 瓶詰樽詰
菓子 罐詰 色々
洋酒類 取次販賣

釀造發賣元
宅合名會社
大阪府堺市九間町 本店
北海道小樽湊町 小樽支店
臺灣臺北街書院 臺北支店
臺灣基隆街石牌 基隆支店
臺灣臺南街下南河 臺南支店
北海道函館區辨天町 函館出張店
淸國遼陽城內西街 遼陽出張店
淸國大連監部 大連出張店
淸國牛莊海東營口 營口支店

婦科靈藥
專治
奏功如神仙
名聲掩四海

中將湯

大日本東京津村順天堂
大藥房處修

此藥專治婦科諸症、如經血、子宮虛冷、白帶赤帶、胎前產後諸症、惡阻、呑酸、吐水、諸症、產前產後、流產、漏泄、不安、諸症、月經不調、經痛、經水不順、經前經後、諸病、痛症、頭暈目眩、諸症、逆經、衰發起、火氣、手足腹痛、經閉、男女感冒、風寒及疝瘕等症、誠救苦之妙藥、世之至寶也、復治經濟、子宮病、血の道等婦人病一切の妙藥なり

總批發處大淸國營口永世街(二本町)
藥司洋行
藥劑士 淺野大藥房
其他各國有名靈藥發售處醫藥及醫療器械

雜貨 醬油 木炭
すし米
清酒 大樽 半樽

營口西北街
阪神組

滿洲大販賣所

營口(張松林邸內) 池上出張店
遼陽停車場前 池上出張店
奉天 池上出張店

SPECIAL LIGHT
(PILESNER BEER)

スペシャルライト賣出し

スペシャルライト、はピルスナビールにして此種のビールは日本に於ては弊社始めて之を釀造せり
スペシャルライト、は高價を拂ひて元料を特選せり
スペシャルライト、は其味輕くして高尙なり

釀造元 大阪朝日麥酒株式會社
營口發賣 關東公司雜貨部

標子 木板 料木
發賣

營口青堆子
清水寧木局

裕和盛販賣品目
○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種

大日本帝國醫科大學模範藥局特用
攝津灘石崎合資會社釀造

醇良清酒
澤之鶴

滿洲特約大販賣

周
淸國營口西北街
裕和盛號支店
電話八十一番

和盛本支店所在地
○支店韓國京城、仁川、木浦、旅順、鐵嶺、
○支店淸國、芝罘
○本日本長崎梅香崎

裕和盛は淸商中日本通の張本
澤之鶴は天美祿ある定評に既

景品御料理御披露

私儀去月中原料並に道具仕込みの爲め歸朝致し居ましたが此程種々の玉品を仕込みて立歸りましたを幸ひ常の御引立に酬ひ度と思ひますので此際更に大勉强をしまして從來の御料理を吟味します外新に左記の價額にて釜飯湯豆腐の二品を加へ籤引景品を差上ます

新御料理

加藥飯	御壹人前	銀五拾錢
親子飯	仝	上
湯豆腐	一鍋壹	銀貳拾五錢

但釜飯は加藥親子何れでも御二人前以下は御調進出來ませぬ
景品は御勘定(銀貳圓)に對し一枚の割にて景品券にて差上げ置き今回の總券數二千枚を出し盡しました時に有志の御方々の御立會ひを乞ひまして籤引致し景品券を引換へに差記の景品を進せます何卒陸續御入來之程を偏に希ひます

景品目錄

第壹等	銘酒澤之鶴		七樽
第貳等	仝		三樽
第參等	五匁附純金指環		壹個
第四等	二本 銀側懷中時計	(代價二拾圓)	壹個宛
第五等	三本 旅行用皮製カバン	(仝拾五圓)	壹個宛
第六等	四本 旅行用化粧道具	(仝拾圓)	壹個宛
第七等	五本 膝掛け	(仝八圓)	壹枚宛
第八等	六本 絹紬	(仝六圓)	壹反宛
第九等	七本 メリヤスシャツ	(仝五圓)上下	壹組宛
第十等	八本 卷烟草入	(仝貳圓)	壹個宛

明治三十九年二月十日より

元神廟街
翁亭
長谷川金次郎

時刻

塘沽至北京　上六、…　下一二、〇六
天津至北京　上二、〇〇　下五、二〇
山海關至北京　上一八、〇〇　下六、四五
唐山至山海關　上六、…　下一…
山海關至營口　上七、〇五　下四、五五
溝邦子至新民　上三、〇〇　下六、五七

奉天　着午後　一二、〇六
上り列車　奉天　發午前　一一、〇〇
大連　順　發午前　七、三〇
　　　着　一〇、四九
營口　發午後　十〇、二五
大石橋　着翌前　一二、一〇

豫報

昨日の氣温　最高温度廿一度二　最低温度十四度
昨年との比　高六度八　低〇度九

宮門抄

二十七日　工部　鴻臚寺　正藍旗值日　無引見　肅王等謝調授缺恩　瞿鴻禨謝協辦大學士恩　貴昌印啓謝原品休致恩　溥侗假滿請安　召見軍機　紹昌　政務處遞封奏一件

上諭恭錄

二十七日奉
上諭順天府府尹着袁樹　補授未到任以前着陳璧兼署欽此
旨太常寺卿着管廷鶚補授欽此

奏議

鄂督張奏爲揀員請補苗疆道缺以資治理摺

奏爲揀員請補苗疆道缺以資治理恭摺仰祈聖鑒事竊照湖北施鶴道趙濱彥升任遺缺係新設苗疆最要缺臣於光緒三十年九月奏設施鶴道摺內聲明苗疆險遠教案紛繁總求爲地擇人暫勿拘以資格擬由外揀員請補等語欽奉硃批著照所請欽此欽遵在案查施鶴道一缺駐紮施南府地處苗疆山菁深險民教糾紛治理既極繁難地方尤極瘠苦經營布置彈壓撫綏事事均關緊要非得廉能幹練之員不足以資治理臣於通省候補道員中詳加遴選查有二品頂戴軍機處存記特用道桑寶現年四十六歲係順天府宛平縣人由一品廕生光緒五年五月考取漢廕生奉旨內用以員外郎簽分刑部光緒己卯壬午鄉試兩次挑取謄錄八年十月因該員祖父桑春榮任刑部尚書任內病故奉旨賞給郎中十三年三月選授戶部貴州司郎中因恭辦大婚典禮奉旨著俟截取後以知府不論雙單月即選經俸滿截取引見奉旨記名以繁缺知府用十六年充會典館繪圖處協修官七月調補江南司郎中十七年因京察保送堪以繁缺知府分省即補奉旨以繁缺知府發往河南歸截取班即補七月初九日聞計丁父憂回籍守制十八年正月奉調赴湖北委辦鐵政局收支兼充鐵廠槍砲總稽查六月奉委赴上海考校製造槍砲機器等事十九年二月調辦江夏馬鞍山煤礦等務是年十月服闋二十年三月起復回豫是年在順直賑捐奬戴花翎二十四年會典館成書過半奏保俟補缺後以道員用二十六年十一月經臣會同前湖北撫臣景星奏派在河南賒旗設局轉運鄂糧並就近採購雜糧運陝濟賑並因該員籌捐鉅款助賑係屬異常出力復經臣會同前湖北撫臣端方專摺奏保送部引見奉硃批着開缺以道員仍留原省補用是年續由護理陝西撫臣李廷簫以協解陝糧案內出力奏請賞加二品頂戴二十八年四月到鄂清算購運雜糧報銷經臣電咨河南暫留湖北差委委辦農務學堂是年十月復經臣會同前湖北撫臣端方明保送部引見十二月派赴日本考察政治工藝學務二十九年七月由日本回鄂請咨赴部引見於九月二十二日經吏部帶領引見奉旨著於二十四日預備召見欽此旋奉特旨河南特用道桑寶著以道員發往湖北補用並交軍機處存記欽此三十年二月初一日到省四月委辦湖北兵工局廠事務九月委署湖北漢黃德道篆務三十一年正月交卸委辦省城善後局務該道桑寶心精才長誠實可信且在湖北差委多年情形甚爲熟悉以之請補施鶴道苗疆缺要洵堪勝任合無仰懇天恩俯准以湖北特用道桑寶補授施鶴兵備道實於地方諸事均有裨益如蒙俞允該員係特用道員請補道員銜缺相當毋庸送部引見所有揀員請補苗疆要缺道員緣由理合恭摺具奏伏乞皇太后皇上聖鑒敕部核議施行謹奏奉硃批吏部議奏欽此

東京電報

●日政府勸中國防制排外氣勢

中國排外氣勢刻已達於極點將起不測之禍日本政府深願善隣之誼不忍默然日前致忠言於中國勸以作速鎮靜匪徒於未發之前以避與外國啓事端之煩累日昨駐北京內田公使乃以此意告慶邸慶邸謝其厚意且覆答以電飭各總督從事平定匪徒以期鎮靜云　（西二月二十二日到）

●送還俄俘告竣

日俄開戰以來俄兵被捕于日軍者計將校一千四百三十八名下士卒七萬零五百三十五名共七萬一千九百六十三名日本收容於大阪福岡京都金澤習志野等處頃日俄和約成立日本政府特順次送還該俘虜刻已盡行歸國云　（西二月二十三日到）

中外要聞

●中俄議約情形　唐少川侍郎於二十六日赴津聞唐侍郎前向俄使提議要求者係爲呼蘭愛琿等處被俄所佔之地段及漢河都魯河等處金礦須一律歸還然俄使璞科第君不但藉詞不肯歸還反向中國邀求須允俄在黑省別有關礙利權並請求東清枝路權利以相抵制唐侍郎雖堅持力爭但俄使要挾多端不肯稍爲退讓故數日來中俄議約全不見有進步蓋此次唐侍郎停止會議赴津是殆欲與袁宮保磋商此事以便核奪也想唐侍郎由津回京時則於中俄議約必有把握矣並聞外交中人云俄國於日俄平和條約申明俄國於滿洲並不要求特別利權之事而其於中俄議約不但不肯承認中國大公之邀求且向中國要求各種新利權毫無顧忌以違公理吾人爲中國計宜執公理堅持力爭以杜絕俄國窺盜而保全東方大局決不可遷延觀望爲俄國所愚云云

●催辦商埠　兩宮西巡軍機王大臣東三省開闢商埠前曾降旨飭令袁世凱趙爾巽妥籌辦法何以迄今尚未議覆現在中日業已定約應催袁趙迅速核議覆奏務期速爲開辦云云昨由軍機處電致北洋大臣及奉省將軍矣

●振興海軍政策　昨　皇太后垂詢整頓海軍今聞內廷消息軍機大臣倫貝子那中堂會議海軍之事雖有籌款之策但購砲添械設塢製機均未盡善須咨飭各省督撫暨南北洋大臣延聘精通水戰及船政要務之人率領海軍將弁沿江沿海測量阨要參酌英國所繪之圖詳細繪圖貼說刊印頒行使各軍皆知形勢而進退有則再於南洋添設管駕學堂招生肄習練達海軍各項程度云云

●俄使請保護議約大臣　俄國公使日前至外部會晤請議約大臣由俄北上先至伊犁庫倫等處游歷次由張家口來京但本國議約大臣經過中國地界宜派官兵保護一切接待禮儀均請貴部開具節略隨照會使館以憑辦理云云

雜報

●英使請派員彈壓　英國公使照會外部擬稱協和醫院現經開考請貴部轉飭派員彈壓以防攪擾等語聞外部已向步軍統領衙門工巡局警部咨商矣

●慎重禁地　聞內廷景運門向係正白旗護軍德降值班稽查一切近來時有無知匪人帶遠年腰牌手提鳥籠在該門往來行走任意便溺致該處推積糞土汚穢等物殊屬不成事体昨見護軍統領大臣出示嚴禁各門值班官弁認眞稽查以後如再有任意作踐假冒內廷當差之匪人查出究辦不貸以昭愼重禁地之意云云

●驗收木料　聞工部擬收河南山東等省差委解到沙木回批例應廣儲司會同監收日昨已派桂森司員隨帶皂役三名前往黃木廠查驗並奉堂諭所解木料飭委員嗣後隨到隨報不准遲延倘再行遲滯定當行文查辦

●奧國保留欽使　奧國欽差至外部會晤懇外部大臣代奏將清國出使駐奧大臣保留三年等語外部已允准所請矣

●西海關開關之預備　現天氣溫和開河伊邇聞西海關職員某君云本年新定章程凡客貨有欲開關驗行者須於二月初六日以前赴關呈請可也

●俄軍尚運儲糧　昨聞北來人云奉化縣附近五站地方舊爲俄兵所佔據撤退未盡前二日尚見俄人由北運來糧餉云

●銀爐門面一新　裕盛源號本埠銀爐中之特色也自兵荒以來恐遭煩擾故出入皆在後門頃因大局和平地面十分安靖該總理人寶君環海特諏吉於日昨大開正門氣象一新想此後商業隆々更當於經濟界中獨標一幟矣

●貨棧失愼　本埠西宮塘北岸福建會館東鄰有福泰興醬園內兼山貨棧概寓山貨參茸諸客院宇屋廬封置山貨甚多前日午前十一鐘院內穀草爆然烟沸焰騰延燃院屋不可嚮邇遇烤會館詹瓦爆響不已幸本段憲兵急率巡勇等撲救尋有他段憲兵勇等齊來助救督率水會人夫群相取水有某憲兵身御水龍激射火處有四小時全行撲滅聞焚燬屋宇數椽貨物尚未詳其數云

白話

●闊少　東西各國　有一種最挖苦人的話　看你無用了　就要稱呼你是老大　意思之中　笑你老而無能　大而無當　不但淺人如此　就是那很有學問的人　也免不了這類的口氣　近來又翻出新鮮花樣　不叫老大改稱闊少　闊少比老大　更覺得挖苦的利害　怎麼見得呢　老大是無用的了　闊少的名目　像似恭惟　其實是在侮弄這人頭的闊少年　處處受人欺騙　還把人當作好友　黏著時興的派頭　無論花多少錢　也是情願　所以從前叫你老大的　如今又稱呼你闊少了

●文明　有一位秀才　知道八股無用了　心心念念　要學文明　一天走到洋貨店　看見一塊黏着蠅紙　本不識貨　勉强充內行　細看一徧　不住口的贊歎　說道實在文明　實在文明　此處着蠅　吃起糖來　都是這樣的規矩　一動也不動　比我們學房的學生　難說的了

NEWCHWANG, SATURDAY, FEB. 24, 1906.

"Monarchy *versus* Republicanism" (Part II.)

But aristocracy by birth is more supportable than aristocracy by wealth as are found in the Wall Street. In the U.S., bossism, trusts, and caucus, but not personal merit, dispense the spoils of offices. The powers that be have to make hay while the sun shines. To quote Emerson, 'politics of a republic are made in the bar.' When Norway recently had to choose between the two forms of government, she wisely voted for a monarchy and elected a king. This may be interpreted as an expression of general leaning of men more towards monarchy.

Mr. Sargent. (Rep.) "Republics supply the state with the best articles obtainable for government offices."

Mr. Moore. (Mon.) "Such impetuous people as the Irish, if mounted on republicanism, would run it down to anarchy."

Votes were taken then, monarchy winning by 19 to 11.

"War *versus* arbitration" has been adopted by the majority for the subject of next debate.

The Fancy Dress Ball which had been postponed from the 13th. inst., took place on Thursday evening the 22nd. (Washington's Birthday) and went off with tremendous eclat. The attendance was particularly good for Newchwang on so cold dreary an evening, the temperature having taken a perceptibly sharp fall towards dusk. The costumes were both varied and fantastic, and among the sterner sex, disguise was admirably effected by the heroic discarding or happy acquisition of hirsute appendages. A ballot was cast for the best ladies' costume, the prize being awarded to Mrs. Stewart, with Mrs. Cox for the second and Miss Sargent for the third. Mr. Pauls earned the gratitude of the company by sustaining the complete success of the ball from beginning to end, through his tireless and excellent performance on the piano. All the credit was due to Mr. Carlos for the highly artistic decorations of the rooms. Mr. Bellew made quite a night of it as a hustling 'Boot-Black, serving the triple purpose of enjoyment, profit, and what is worthy of special mention, benevolence. His hands, so it is said, still retain the inky marks of his noble drudgery that netted $18 to him, or more correctly speaking, to the Newchwang Branch of the Japanese Patriotic Ladies Association. The money has been handed over to Mrs. Segawa in return for her courtesy in letting the acetyline-gas lamps stay over from the Tuesday's Bazaar, for the illuminations of the night. Supper was well laid and done ample justice to. The Committee are to be heartily congratulated upon the grand hit they scored.

The delighted gathering was made up by Mesdames Bandinel (Lady of the 17th. Century), Cox ("Bridge"), McCaslin (Dutch Girl), Tisdall (Shanghai Volunteer), Daly (Red Cross Nurse), Lawrence (Matron), Dunn (Puritan Lady), Van Ness (Early Victorian), Stewart (Gipsy), and Bellew (Spanish Dancer), —Misses Bandinel (Japanese Lady), Sargent (Spanish Dancer), and Carlos (Dawn);—Messrs. Bandinel (Captain), H. A. Bush ("Master of Hounds), Ross Thomson (Japanese Rickshaw Coolie), McCaslin (Shanghai Fireman), H. F. Bush who returned home last Sunday (Jack Tar), Bauer and Daly (Gentlemen of the 16th. Century), Sprent and Webster ("Clergymen"), Moore (Italian Sailor), Alway (Shanghai Volunteer), Benson (Uncle Sam), Van Ess (Dutch Boy), Dunn (Pied Piper of Hamlin), Stewart (French Cavalry Officer), Bellew ("Boot-black"), Farnham (Rough Rider), Pauls (Ancient Chinese Emperor), Farmer ("Disguised as a Gentleman"), Heuckendorff (Gentleman of the 16th. Century), C. G. Bush who came back last Wednesday ("I-D-L-E-R"), Edgar (French Admiral), R. Bandinel (Tientsin Volunteer), Carlos (Charles XII.), Waddilore ("Ike Mosenstein"), Wese (Lunatic), and Liebe (Chinese Actor);—Mesdames McIntyre, Smith, and Baring, Misses (3) McIntyre, and Messrs. Cox, McAllum, Tisdall, Sargent, Smith, Phillips, Anderson, Baring, G. Thomson, Hardy, Forzinetti, Schaaf, Mckenney, and J. Bandinel.

Silver keeps up its steady ascent as shown below.

(Feb. 23, 1906).

JAPAN	Bank T.T.	100¼
	" Dem'd	100½
	P'ate 15 d/s.	101
SHANGHAI	Bank T.T.	70¾
	" Dem'd	71
	P'ate 15 d/s.	72
TIENTSIN	Bank T.T.	102¼
	" Dem'd	102½
	P'ate 10d/s.	101¼
LONDON	Bank T.T.	2/- 3/8
	" De'd	2/- 7/16
	Cr. 4 m/s.	2/- 15/16
AMERICA	Bank T.T.	49½
	" Dem'd	49¾
	Cr. 4 m/s.	51
Bar silver	- - -	30 9/16

營口旅館料理店案内（いろは順）

旅館 第一營口ホテル 天神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 柏屋忠兵衛

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷 初次郎

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上 源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上東四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三種

料理 沖の島 永世街百六十五號 店主 中川福三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田 正好

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一）店主 廣田 久二

旅館 大和館 永世街十一號 店主 前園九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直原 勝一

料理 萬梅 豊資門街第百〇四號 店主 田島 猶助

御料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田 常松

料理 醉花園

旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田 留吉

旅館 金城ホテル 永世街百六十六號

料理 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

料理 喜樂亭 營口元神廟街

爲替相場（二月廿三日）

日本向 一百圓（軍票百圓に付）

上海向 七十一兩二匁五分（同）

天津向 一百〇二圓二十五錢（同）

芝罘向（百弗に付）

日本品最近物價表 石原商店

一箱ボイル 三十入 銀八圓

一フキ同 同 同五圓五十錢

一福神漬 四打入 同三圓

一美濃紙 同 同六圓八十錢

一大手帳 一打 同一圓

一スコッチ靴足袋 一打 同四圓五十錢

一洗濯石鹸 二十入一函 同三圓

一毛シャツ上下 打銀二十五圓より六十圓迄

一白メリヤス上下 打 同八圓より十三圓迄

一首輪 一打 同二圓

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 銀八十仙
半ケ年前金 銀四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙

營口軍政署 御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街

さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

御料理 柳亭 叮嚀專一 豊濟門街二三 店主 玉岡 登人

御料理並ニ温泉 一力 營口永世街 店主 堀 万助

和洋料理 松月亭 本店 營口元神廟街一四三號

和洋料理 御旅館 滿洲ホテル 支店 遼陽西街西門二一七号

遼陽旅館料理屋案内

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 井上 源吉

御料理會席 菊水館 主任 朝枝園捻

旅館西洋料理 遼陽館 主任 永瀬 宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川 秀基

御料理會席 末廣屋 主任 山根 初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館御料理 遼塔ホテル 主任 木村 常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席御料理 玉家 主任 西野治三郎

御料理會席 來々亭 主任 石田 清

撫順炭大販賣
多少に不拘御用命被仰付度願上候
金城館販賣部

特別室落成
營口金城ホテル旅館部

藝妓仲居 新來
金城館料理部

奉天小西門外
會席御料理 高等御旅館
金城館

旅館 富喜樓
室内は極清潔防寒之設備あり
鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案内者出張致し居候
鐵嶺城東門外南へ一丁余
南大街 樓主敬白

御旅館 豐陽館 上海（電話一〇六番）
日本郵船會社荷客取扱
歐米滊船乘船取扱
館主 米田藤吉

西海洋服店
歐米各國最新流行形
永世街一四一（來病院三軒目）（電話百二十七號）

御料理 滿月 平野町一八二（電話一六一）

御料理 滿月支店 平野町（元都樓跡）
今般内地より撰り抜きの別嬪數名呼寄候に付不相變御引立の程希上樓候
店主 青木勝惠

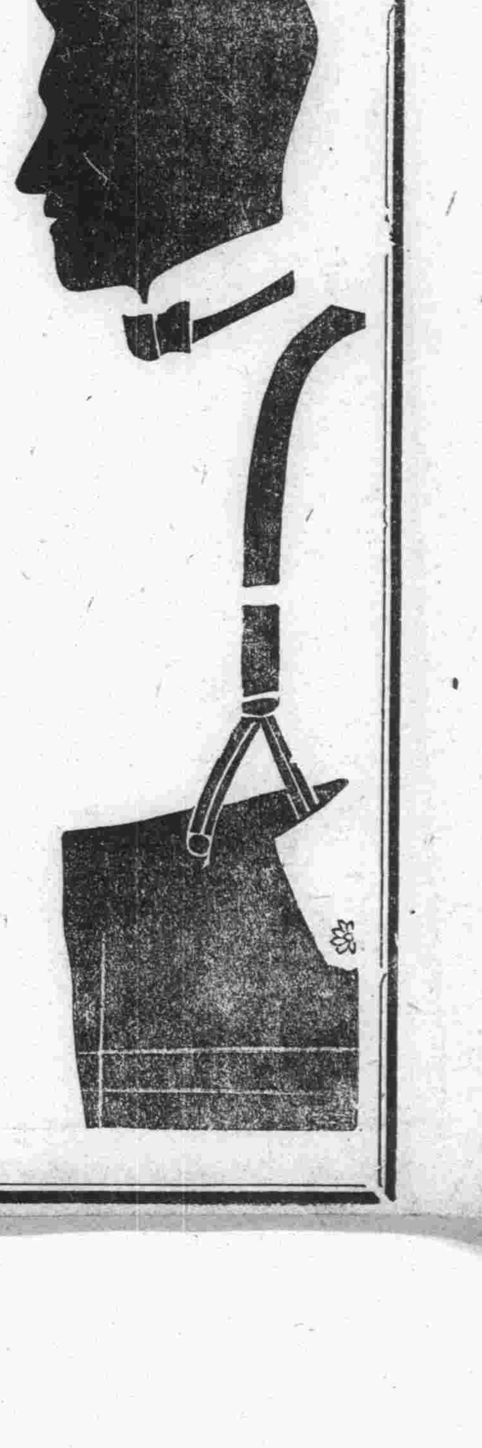
高等旅館 彌生館
營口永世街
館主 宮下兵七郎（電一二）

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に游附且又會費等は特に割引大勉强仕候
一奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町 日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町 日本館支店（電話十九番）
各位樣

歸營廣告
旅行中之處歸營仕候條此段謹告仕候
南永世街 質屋 富田茂次

御料理 旅館 勉強館
奉天小西關外北長慶園隣

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ふも尚ほ不拂の御方は其姓名を掲げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相惟度右は同業者協議の上及廣告候也
營口旅館料理屋同業組合



新着！
舶來ヅボンツリ、新形ネクタイ、流行リボン、
雛人形東京市松、はこせこ、鏡入、
實入、蒔繪實入、手文庫、金庫、支那鞄、柳行李、
元祿模樣、絹首巻、ハンカチーフ、花簪、
鶴香水、ばら白粉、櫛、刷毛、理髪道具類、
春模樣新柄友染、双子縞、銘仙、裏地品々、
營口 加藤洋行（電話八十番）

營口永世街 營口印字局

◎フレノロジー
頭腦を觀察して身の上はんだんをなす
豊濟門街廿三號 李俊氏宅の西半町 利生堂

發賣 材木 樣子 木板
(一) 鹽川商會
清國營口二本町二五五號
主任 鹽川平吉（電話一三六番）
遼陽小西門内 鹽川商會

建築 電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
外に用材北海道産松大角（自二十五尺至三十尺）一万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 一石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭
○亞鉛板 ○洋釘
○干鰛魚 ○石灰
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持参可仕候也
(K) 喜久洋行
永世街八十號（電話百五十二番）

大連 東洋ホテル
大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町